

---

## ISEP インターン 体験記

---

### ISEP に入ったきっかけ

2020 年はコロナウイルスの影響で世界的に未曾有の状況にありましたが、パンデミックがここまで広がった理由に“地球環境の限界”が影響していると考えていました。そこで、現代からもうなくすことは不可能なエネルギー（電気等）を中心に、その改善を考えていきたいと思いましたが、知識の乏しさから一人で学ぶことの限界を感じ、どこかの組織に入ることを決めました。様々な団体や企業があるなかでも、非営利組織かつ研究所という名前から、何のバイアスもなく純粋にエネルギーや取り巻く環境を学べそうだと思い、ISEP に応募しました。



専修大学 経済学部

4 年 大山 梨緒

期間：2020 年 10 月～12 月

勤務時間：10:00～18:00、週 2 日

### 業務について

コロナ禍であったので、業務は基本的に全てオンライン上で行われました。毎朝 15 分ほどのミーティングでその日作業するメンバーと作業内容の確認を行い、各自の作業に入ります。私がこの 3 ヶ月間で携わらせて頂いた業務は、コミュニティパワー関連記事の英訳、地域熱供給の取り組み状況に関するデータ入力、再エネ 100%に取り組む企業や団体へのヒアリングでの議事録などです。面接の際、コミュニティパワーに興味があることや、英訳を通して知識理解を深めたいこと、地域に赴く業務に携わりたいとの希望を、担当者である山下さんに伝えていましたが、振り返るとほとんど希望に近い業務を経験させていただきました。また、大学での講義内にて、自分が調べた小田原市のコミュニティパワーについてお話しする機会も頂きました。得た知識理解やエネルギーに対する自分の思いを整理し、アウトプットすることができ、良い機会になりました。

## インターンで得られたこと

特に印象深かった業務は、小田原の老舗かまぼこ屋である鈴廣さんへのヒアリングです。ヒアリングの前に鈴廣さんの再エネへの取り組みを調べていましたが、その中で出会った「再エネ＝電気だけではない」という副社長の言葉は、このインターンでの最も大きな気づきとなり、その後の興味関心にも影響を与えてくれました。諸事情で現地に足を運ぶことはできませんでしたが、現地の様子を中継していただき、ヒアリングの様子や、鈴廣本社の創エネ・省エネシステムを見学させて頂くことができました。再エネに実際に取り組んでいる現場の空気感や施設の様子を見られたことはすごく貴重な経験でした。

はじめは「エネルギーについて知りたい、学びたい」と漠然に考えることしかできませんでしたが、日々の業務を通して、エネルギーの中でも未利用熱などの活用を推進していきたいことや、ライフサイクルで再エネを考える重要性に気づくことができました。就活を始めるタイミングで自分の興味や方向性を絞っていくことができたことは大きな収穫です。

## ISEP でのインターンが気になっている方へ

インターンの期間中、他のインターン生と実際に顔を合わせることはできませんでしたが、時間の余裕があるときや新たにメンバーが加入したときには、雑談タイムを設けてくださりました。硬い話ではなく、「おすすめのアプリ」や「今年3番目に嬉しかったこと」などのラフな話を通して、実際に会えなくてもどんな方が一緒にインターンとして活動されているのかを知ることができ、嬉しく思ったことを覚えています。また、同年代の方がこうして一緒に自然エネルギーにアプローチしている環境は、心強くもあり刺激的でした。

ほとんど個人での作業だったので不安なこともありましたが、メールや LINE、ミーティングなどで気軽に質問ができる環境であったので、思い悩むことなく業務に取り組むことができました。また、ミーティングでは山下さんが自然エネルギーを取り巻く最新の情報や会議の様子、業界に携わってなければ分からない裏話などを話して下さったり、インターンのメーリングリストでは、開催されるイベントや会議のお知らせをたくさん流して下さいました。そのため、ISEP に入らなければ得られなかった情報はものすごく多かったです。少しでも興味のある方は是非チャレンジしてみてください。多くの学びや気づきがあることは確かです。